



糖尿病タイムズ



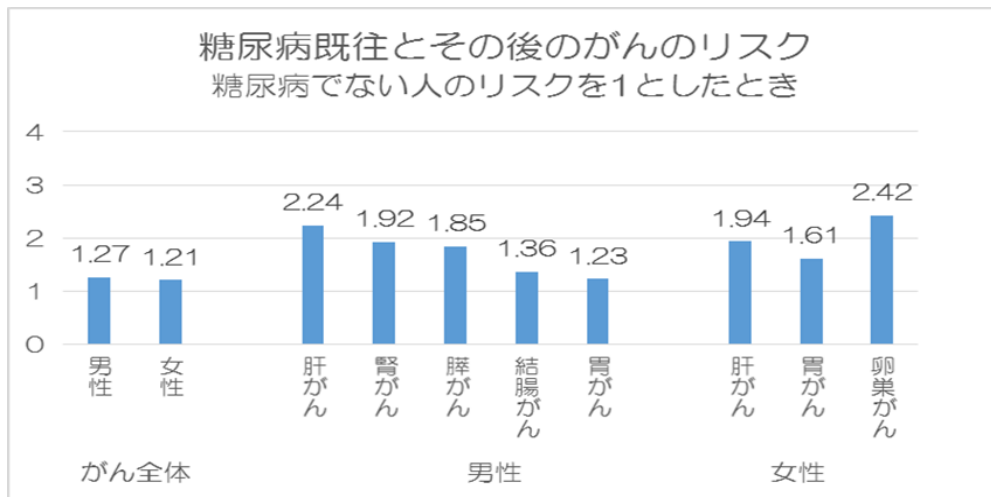
第6号（平成29年 4月7日発行）

「糖尿病とがん」

第6号は糖尿病とがんについてです。
糖尿病とがんのリスクに関連があることが最近分かってきました。



2013年の日本糖尿病学会の調査報告によると、糖尿病患者は非糖尿病患者に比べてがんの発症リスクが約1.2倍あり、肝がんや膵がんは約2倍、結腸がんは約1.4倍のリスクがあることがわかりました。また、日本の2型糖尿病患者の死因第1位は癌と報告されています（糖尿病50（1）：47～61, 2007）。



糖尿病治療で血糖コントロールを良くすること、HbA1cを下げることは確かに大切ですが、定期的ながんのスクリーニングをすることも大切です。

当院でも健診の受付を行っています。人間ドック、脳ドックをご希望の方は、直接健診センターへ来院またはお電話で申し込みください。

名 称 市立三次中央病院健診センター
所在地 〒728-8502 広島県三次市東酒屋町字敦盛531番地
TEL (0824) 65-0620
FAX (0824) 65-0621



新しい医師が着任しました！



毎週木曜日の担当だった馬場隆太医師に代わり、4月から岡田晃医師を迎えました。



本年度より市立三次中央病院 糖尿病代謝内分泌内科に来了医師の岡田です。
三次、県北の医療に貢献できるよう、微力ながら尽くさせていただきます。よろしくお願いします。



＜編集後記＞
病院に受診しているからといって、健診を受けなくていいわけではありません。

発行元： 市立三次中央病院
糖尿病療養指導チーム
文 責： 糖尿病・代謝内分泌内科（馬場 隆太）